



# 那須塩原市

# No.11 (2021年9月)

# 市民活動センター通信

開館時間：月～土 9時～22時

※現在は、開館時間を20時に短縮して営業。

17時以降は会議室の事前予約があった場合のみ開館し、窓口での相談業務及び印刷機等の使用のみの利用は出来ません。

日・祝 9時～17時

休館日：水曜日・年末年始(12/29～1/3)

〒329-3157 那須塩原市大原間西1-11-10

TEL 0287-73-5741

FAX 0287-73-5743

E-mail [shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp](mailto:shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp)

<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

市民活動センター → 検索

「なすしおばら映像コンテスト」  
～那須塩原わくわくライブ新発見！主役はあなたです～

《作品募集中！》

応募期限：令和3年11月30日(火)※郵送の場合、当日消印有効

詳しくは、那須塩原市市民活動センターHPを確認してください。

キックオフイベントを9月12日(日)に

YouTubeライブ配信で実施しました。

「参加でつくる地域の未来！」と題した講演では、講師の土崎雄祐氏から、助け合い、協力して人のつながりをつくり、仲間を増やすことが地域づくりになるとのお話がありました。そのほか、市長からのコメントや参考映像などを配信。

音声等のトラブルもありましたが、79回の視聴をいただき、現在は200回を超えています。



(土崎先生の講演の様子)

※ワークショップ開催のお知らせ

日時：令和3年11月7日(日)13:30～15:30開催

講師：映像クリエイター 佐藤利行氏

会場：市民活動センター

内容：「スマホによる動画撮影から編集までの基礎講座」

定員：12名(申込順)・参加費無料

(申込はお電話またはメールでお願いします。)

## 登録団体の活動紹介

### FUNKYT(ファンキット)

私たちは那須塩原市を中心に活動している学生ボランティア団体です。ただ、ちょっとよく聞く「ボランティア団体」とは一線を画し、「若者の力で街を元気に！楽しい事は自分たちで作る！私たちの笑顔が街を笑顔にする！」を、テーマに掲げ活動しています。

これまでは、行政主催の事業のお手伝いや街おこしイベントへの出店、オリジナルフードの開発・販売等、「頂いたオファー」を受けての活動がメインでした。

コロナ禍で、イベント等が軒並み延期や中止となり、「今後は受け身ではいけない」と自分たちで考えたことから、「地域交流カフェ」を今年度内にオープンさせることになりました。

今後は「地域交流カフェ」を活動の中心として、そこで出来た仲間や協力して下さる企業の方々と、できることを少しずつ着実にやりながら活動の幅を広げていきたいと考えています。

興味のある方は是非一緒に活動しましょう！



### にへいふあーむ



「にへいふあーむ」では、ちょっと変わった人がちょっと変わったことをしながら、ちょっと変わった美味しい野菜を育てています。

味がいいのは当たり前ですが、見た目のインパクト等も重視し

「見てビックリ！食べたらもっとビックリ！」をモットーとしています。

多くの農家が「保守的・閉鎖的・考えが古い」などといったイメージを抱かれていることを危惧して、我が農園からその悪しきイメージを変えていこうと、農業体験の受け入れや企業とのタイアップ等を通して「拓かれた・開放的で・斬新な」農家でありたいと考えています。

フラッと来てもらえたらその場で野菜を収穫してもらおうなど、農業に触れあえる機会も提供しています。

コロナ禍で、世の中は非常に生きづらくなってしまいましたが、いつも生活の傍らにある「野菜」を通して、そんな閉塞感を払拭してもらうために、今後もより一層「安心して安全な美味しい野菜」を皆さんに提供できるよう、土と戯れながら精進していこうと思います。 それでは皆さん！いつか畑でお会いしましょう！

### (株)パン・アキモ

東日本大震災から10年、防災安全協会10周年記念事業として、日本発の優れた「非常食・災害食」を国内外へ発信する「災害食大賞2021」が、開催され、パンの缶詰「みどりの救缶鳥+」が特別賞である「缶詰博士賞」を受賞しました。

(株)パン・アキモは1947年創業。

阪神淡路大震災をきっかけに、世界で初めて長期保存可能な「パンの缶詰」を開発し、スペースシャトルへも積載されました。

災害食はビタミン・ミネラルなどの微量栄養素が不足し、免疫力の低下や健康被害が悩みですが、ユーグレナを生地に入れるという栄養的な配慮が行き届いた発想や、塩分が少ないこと、多様な言語での表記などが高く評価されました。

最近では、糖尿病患者さんへ栃木県産小麦粉を使用した「ゆめらパン」を開発。血糖値の上昇を抑制する効果が期待されています。

また、当社の工場移転先用地候補を整備し、「きらむぎサッカーパーク(きらサバ)」として開放する準備も進めています。



(アフリカ エスワティニ王国の子どもたち)